

平成27年1月1日

第79号

鶴 戸 謹賀新年



87-0101

鹿嶋県日南市宮浦3232番地

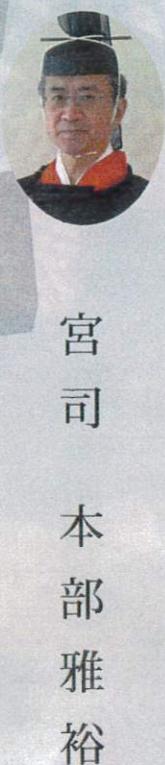
987-29-1001 FAX 0987-29-1003

鶴戸神宮ホームページ

<http://www.udojingu.com/>

発行者兼編集者
鶴戸神宮社務所

謹んで新春のお慶びを申し上げます



宮司 本部 雅裕

平成27年1月1日(2)

平成二十七年の始めにあたり鵜戸の宮居より、御皇室の愈々のお榮えと、氏子崇敬者の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。

日頃皆様には、全国各地から当神宮に厚い崇敬の誠を捧げていただき対応に有り難く、厚く御礼申し上げます。

さて、宮崎県では三年前の平成二十四年から「記紀編纂一三〇〇年」の記念事業を種々行つてゐます。これまで当社報でも、鵜戸神宮に関する「記紀」の話を紹介してきました。しかし、ご祭神について「記紀」に登場しない話も数多く残されてゐて、大事に語り伝へられてきました。その一つが前号で取り上げました『鵜戸縁記』といふ古文書です。今回はそれに続き、能「鵜羽」についてご紹介します。この能は、昨年十
月に宮崎県延岡市で上演されたことにより、私も改め

て詳しく知ることとなつたものです。

それは、「第十八回天下一薪能」が開催されるにあたり、主催者側から鵜戸の御祭神にまつはる「鵜羽」のお話を聞く機会があつたからです。この薪能は、慶長八年から延岡を領した高橋、有馬、三浦、牧野、内藤の歴代藩主が残して今も地元に伝はる多くの能面を使つて舞はれます。毎年、延岡城址の石垣を背景に開催されるのですが、今回はあいにくの台風接近の影響もあり、大事をとつて室内での公演となりました。

当日は、まづ能「猩々」が人間国宝の能楽師片山幽雪さんと地元の能楽教室に通ふ小中高校生四人によつて演じられました。次に、狂言「因幡堂」が片山七五三さんによつて上演され、最後に能「鵜羽」が、観客一三〇人を前に披露されました。

これは、神話「海幸彦・山幸彦」を能曲にした物語で、鵜戸神宮が舞台です。内容は、比叡山の恵心僧都一行が鵜戸参詣に訪れるが、鵜の羽で葺かれた産屋の御殿は、片方だけしか葺かれてゐません。僧都がそこにゐる二人の海女に、片方の屋根について訳を尋ねると、海女は神社の祭神である「鵜羽葺不合尊」の誕生と、

も、この能「鵜羽」や「鵜戸縁記」などのやうに、分かりやすい形で御祭神鵜鶘草葺不合尊の御由緒を広く一般に伝へてきたこともまた重要で、今後とも大切に守り伝へていく必要があると存じてゐます。
どうぞ今年も、神代が今の現に生きる鵜戸神宮にぜひお揃ひでご参拝下さい。

またこの「鵜羽」は、日向神話の分かりやすさもあり、世阿弥が作曲した当初から人気の曲であつたやうです。しかし、鑑賞してゐた当時の室町時代の六代將軍足利義教が暗殺されたため、後に徳川の世になりました豊玉姫が現れます。姫を演じる十世片山九郎右衛門さんが、千珠の玉をかざして海が一気に引いていくさまを、また満珠の玉をかざしては逆に潮が満ちていくさまを、優雅に、そして迫力のある舞で見事に表現してくれました。

またこの「鵜羽」は、日向神話の分かりやすさもあり、世阿弥が作曲した当初から人気の曲であつたやうです。しかし、鑑賞してゐた当時の室町時代の六代將軍足利義教が暗殺されたため、後に徳川の世になりました豊玉姫が現れます。姫を演じる十世片山九郎右衛門さんが、千珠の玉をかざして海が一気に引いていくさまを、また満珠の玉をかざしては逆に潮が満ちていくさまを、優雅に、そして迫力のある舞で見事に表現してくれました。

上演当日は、この「鵜羽」の舞台鵜戸神宮と、地元延岡の今山八幡宮から、早朝にそれぞれの忌火が切り出され、行灯に移された淨火が狩衣姿の二人の宮司の手によつて舞台の両袖に点されて開演となりました。



「鵜羽」の一場面



忌火の切り出し



鈴の舞

エビスの舞

榦の舞

献穀の舞

○榦の舞 中原笙汰・高橋祐生 ○献穀の舞 外山礼堂
・根木天祐・村中郁斗 ○エビスの舞 新坂樹莉・高嶺楓那
○鈴の舞 山根麻柳・池田朱里・蛇田和香

子供神楽奉仕者

九月一日から七日
まで 第六回 IBAF 女子野球ワールドカップ宮崎大会が開催され、侍ジャパン女子代表メンバーが、九月四日に当神宮へ参拝しました。みごと四連覇を達成。今後のさらなる活躍を期待します。



野球日本代表侍ジャパン女子代表選手の皆さん

○日本バイオ
代表取締役会長
四田 美利様

○坂本不動産
坂本 哲夫様
百合子様

○横山 正様
幸子様

○(株)ごくろ
落合 孝章様
東志子様



新嘗祭【新穀感謝祭】

朝夕の冷え込みも増し、日中も肌寒くなり始めた十一月でしたが、二十三日は穏やかな天気となり、午前十時三十分より責任役員、氏子総代、崇敬者総代をはじめ約百六十名の参列のもと、盛大裡に斎行されました。この祭典は、今年収穫された新穀や生産物を神々に捧げ、神々のご加護によつて生産出来たことを喜び、産物を得られたことに感謝する祭儀です。

また、鶴戸小中学校三・四年生の生徒十名が昭和五十年より受け継がれてきた子供神楽を奏舞し、華やかな祭典となりました。

十一月十八日、掃海業務支援隊司令の、田口慶明一等海佐他三十六名が、隊員の健康・任務成功的祈願に来宮されました。毎年この時期に油津港に寄港し、国防に努めるべく、日向沖で訓練が行はれます。



海上自衛隊掃海隊安全願祭

奉納

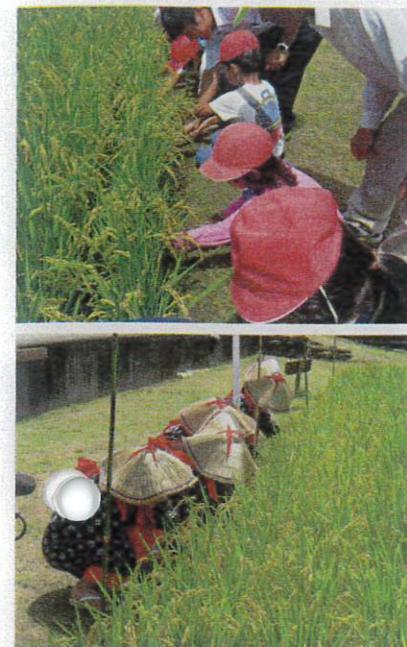
鶴戸神宮の卷族である「鬼」の像を奉納いただき、奉納奉生辰祭を斎行致しました。
参道に、愛くるしい姿でお待ちしてりますので、ぜひご覧下さい。
奉納者は左記の通りです。

六月三十日午後四時より大祓式「夏越の大祓」を斎行。これは日常生活のなかで知らずにふりかかつた大小の災難や穢れ(氣枯れ)を祓ひ清め、明るく平穏な日々を送るための大重要な年中行事のひとつです。

超早場米の产地であり、全国で一番収穫が早いことで有名な日南市に鎮座する当神宮の御神田で、七月十七日午前十時三十分より、拔穂祭を斎行。

田長の「刈りませ」の合図のもと、早乙女が刈り入れ、続いて地元児童と氏子により二畝を収穫しました。

拔 穂 祭



夏越の大祓式

各種祭典

十一月三日前十時三十分斎行。

このお祭りは古来、旧暦三月の祭礼日に農業、商工業に従事する人々が祈願し、大勢の参拝者が賑はつたと伝えられており、この事を奉祝するため、春と秋の年二回行はれてゐます。

祭典後、舞楽「納曾利」「豊栄の舞」「鶴戸さん獅子舞」を奉納頂きました。今年も弓削孝氏に「納曾利面」を奉納頂きました。



明治祭・秋の縁日大祭・誕生感謝祭 舞楽面奉納奉告祭

神嘗祭奉祝祭 神嘗祭遙拝式

十月十五日から十七日に、

伊勢の神宮で、「神嘗祭」が斎行されました。これは皇室のご繁榮と国家の安泰、五穀の豊穣、国民の平安を祈る祭儀で、当神宮でも奉祝する祭典を執り行ひました。



第六十五回全国敬神婦人大会

第六回鵜戸さん 寄席のご案内

職員研修旅行

六月十七日から十九日、六月二十四日から二十六日と、二泊三日で二班に

分かれ、伊勢、奈良、大坂へ職員の研修旅行を行ひました。今回、初めて神宮を参拝する職員から「また、参拝したい」等の感想がありました。

九月二十四日と二十五日の二日間、鹿児島市の城山観光ホテルで第六十五回全国敬神婦人大会が開催され、長友泰子会長他十五名が参加しました。一日目に懇親会があり、清興で太鼓演奏の他、「さつまおごじょ」のおはら節が披露されました。二日目には全国大会が開催され、照國神社島津宮司の講演があり、全日程を終了しました。

鵜戸

平成27年1月1日(6)

(第79号)



当日は、入場無料ですが、小学校高学年以上が入場可能となります。

お迎へ致しました。

年より毎年当神宮にて口演いただいてゐます。

嘶家として、東京を中心に行って活躍されており、平成二十一年より毎年当神宮にて口演いただいてゐます。

鵜戸 (第79号)

(7) 平成27年1月1日

社務日誌抄

3月20日	3月5日	3月13日	2月20日	2月10日	2月11日	2月13日	2月17日	2月19日	2月29日	3月30日	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	8月27日	8月28日	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	11月29日	11月30日	11月31日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日	12月21日	12月22日	12月23日	12月24日	12月25日	12月26日	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	1月12日	1月13日	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	2月29日	2月30日	2月31日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	4月31日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日	5月10日	5月11日	5月12日	5月13日	5月14日	5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	5月20日	5月21日	5月22日	5月23日	5月24日	5月25日	5月26日	5月27日	5月28日	5月29日	5月30日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日	6月4日	6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	6月15日	6月16日	6月17日	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月23日	6月24日	6月25日	6月26日	6月27日	6月28日	6月29日	6月30日	7月1日	7月2日	7月3日	7月4日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月9日	7月10日	7月11日	7月12日	7月13日	7月14日	7月15日	7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	7月21日	7月22日	7月23日	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	7月28日	7月29日	7月30日	7月31日	8月1日	8月2日	8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日	8月18日	8月19日	8月20日	8月21日	8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	8月27日	8月28日	8月29日	8月30日	8月31日	9月1日	9月2日	9月3日	9月4日	9月5日	9月6日	9月7日	9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	9月13日	9月14日	9月15日	9月16日	9月17日	9月18日	9月19日	9月20日	9月21日	9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月26日	9月27日	9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	10月17日	10月18日	10月19日	10月20日	10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	11月22日	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	11月29日	11月30日	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日	12月21日	12月22日	12月23日	12月24日	12月25日	12月26日	12月27日	12月28日	12月29日	12月30日	12月31日	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	1月12日	1月13日	1月14日	1月15日	1月16日	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	1月26日	1月27日	1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	2月6日	2月7日	2月8日	2月9日	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	2月14日	2月15日	2月16日	2月17日	2月18日	2月19日	2月20日	2月21日	2月22日	2月23日	2月24日	2月25日	2月26日	2月27日	2月28日	2月29日	2月30日	2月31日	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日	3月29日	3月30日	3月31日	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日	4月29日	4月30日	4月31日	5月1日	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日</td



末年絵馬作成

今年の干支は「未」で、題字は「正直清淨」です。

絵馬の掛け替へは、毎年十二月二十七日煤払祭に併せて行ひ、翌年の十二月まで設置してります。ご参拝の節にはどうぞご覧下さい。

門松

この門松は、旧飫肥藩で代々受け継がれている少し変はつた形をしてをります。新しい年には年神さまが宿ると言はれ、お迎へするために少しがた形をしてをります。

この門松は、旧飫肥藩で代々受け継がれています。新しい年には年神さまが宿ると言はれ、お迎へするために少しがた形をしてをります。

命名

長崎県 松本 稔愛 様

(平成二十六年七月十四日生)

東京都 長井 創資 様

(平成二十六年五月二十四日生)

鹿児島県 森重 拓士様

(平成二十六年十月十六日生)

宮崎県

橋口 空 様

堀内 由希子様

(六月二十八日)

宮崎県

雀ヶ野浩太郎様

(竹村 美紀様)

宮崎県

(十月十一日)

宮崎県

山下 和也 様

(十月二十六日)

宮崎県

中村 江里 様

(十一月一日)

宮崎県

大橋 維辰 様

(十一月二十九日)

宮崎県

坂下 ゆき 様

(十一月一日)

宮崎県

高田 茂 様

(十一月七日)

宮崎県

川上 真美 様

(十一月二十九日)

宮崎県

山下 由貴 様

(十一月二十九日)

宮崎県

渡邊 絵美 様

(十一月二十九日)

宮崎県

坂下 ゆき 様

(十一月二十九日)

宮崎県

高橋 維辰 様

(十一月二十九日)

宮崎県

小玉 幸太郎様

(二月二十二日)

宮崎県

唐澤 麻衣 様

(二月二十二日)

宮崎県

二木 真吾 様

(三月三日)

宮崎県

河野 あさこ 様

(三月三日)

宮崎県

小玉様、宮崎様と二木様、

河野様は三月三十日に、第

二十八回シャンシャン馬道

中再現に参加され、鵜戸神

宮で新婚夫婦正式参拝を斎行。二木様と河野様は再現のあと、結婚式も挙げられました。)

○表紙の写真は、初冬の朝日差す御本殿です。日毎一日の始まりに、鵜戸神宮を遙拝されてみてはいかがでせうか。

○バス停留所の「鵜戸神宮口」の名称が「吹毛井」と変更になりました。また、最寄りは「鵜戸神宮」停留所です。

○十二月初旬、ヒヨドリが戸山に飛来しました。冬の風物詩となつてをります。

編集後記

(中原)

○新しい年が良き年でありますやう、皆様のご多幸を鵜戸の宮居よりご祈念申し上げます。

